

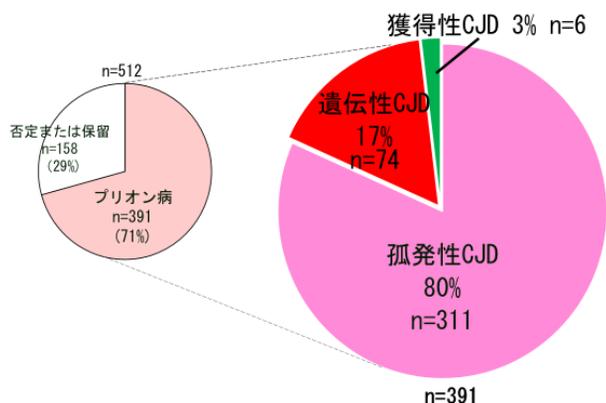
中国四国地区におけるプリオン病サーベイランス

研究分担者：岡山大学脳神経内科 山下 徹

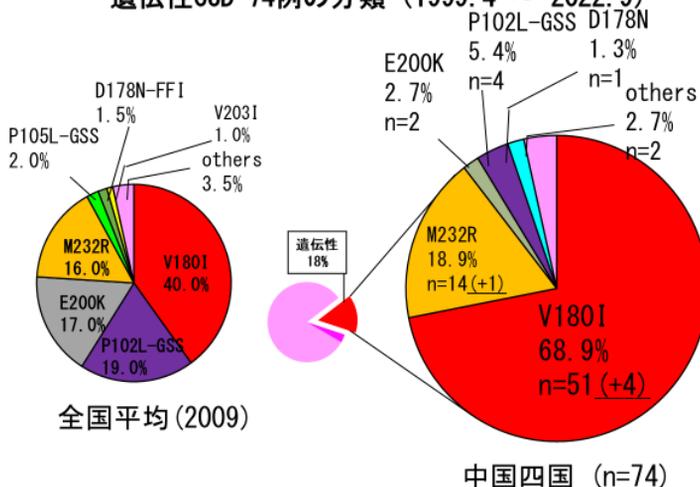
研究協力者：岡山大学脳神経内科 武本 麻美

研究協力者：岡山大学脳神経内科 柚木太 淳

プリオン病患者の病型別分類 (1999.4 ~ 2022.9, n=391)



遺伝性CJD 74例の分類 (1999.4 ~ 2022.9)



2013年10月～2022年9月の10年間の地域別集計 (n=142)



病型	例数	中国地方		四国地方	
		広島	岡山	香川	徳島
sCJD	115例	30例	38例(+11)	7例(+2)	10例
gCJD (V180I)	20例	鳥取	15例(+2)	高知	12例(+5)
		島根	5例	愛媛	19例(+1)
		岡山	10例(+1)	高知	4例
gCJD (M232R)	7例	岡山	7例(+3)	香川	1例(+1)
		鳥取	1例		
		島根	1例		

2013年10月～2022年9月の10年間における否定例の集計 (n=74)



解説

- ・CJDサーベイランス委員会によるプリオン病サーベイランス結果に基づき中国四国地区8県のプリオン病の実態についての報告をさせて頂きました。
- ・当地域ではV180I症例が全国平均に比較して多く、近年さらに報告数が増加傾向であります。
- ・否定症例は、てんかん症例の件数が減ってきており、累計では脳炎が一番多くなりました。
- ・今後も実地調査を原則に、訪問調査結果をサーベイランス委員会に正確に報告し、中四国地区のプリオン病の動向把握とともにサーベイランス委員会の活動に寄与していきたいと考えております。